

## 買い物弱者への支援を急げ!



池田 正弘

①買い物に不便を感じている人へ支援を行うための実証実験が行われたが、この実験から浮かび上がった課題は②事業所やNPOなどが行う買い物弱者を支援する事業に対し、初期費用や運営費の一部を補助する制度を導入する考えは。

**答弁** ①商売として事業

収支が成り立たず商店が撤退した地域で再び商売をすることの難しさを痛感している。仮設店舗での販売や

移動販売による実験では、

販売場所の周辺にある既存店舗との調整をいかに図る

かが課題であり、既存

店舗からの宅配サービス

による実験では、配

達のための人手不足や

コストが課題である②

運営費の補助では補助

がなくなると事業が成り立たなくなるということが生

じるため、初期費用を何ら

かの形で補助することは考

えられる。

◆その他◆がん検診につ

いて/子どもの貧困対策につ

いて



## 12月11日(水)

## 「佐賀市版」経済活性化に向けて



野中 宣明

地域経済構造分析調査の結果、佐賀市のお金が毎年400億円以上、市外へ流出している。このような背景から、今後の地域経済・産業の活性化に向けて、行政と市内全ての産業団体が、一堂に会し対策を議論する

場が必要だと思いがどうか。

**答弁** 各種団体相互の連

携をスムーズにするには、

一堂に会しての議論の場は

必要と考えるが、何を議論

するのかが先にあつての議

論の場だと考える。また、

それをコーディネートする

ことも必要であるが、今の

時点では、行政にその役目

を担うだけの能力は持ち合

わせていないと判断してい

る。このことは、非常に難

しい大きな課題と捉えてい

るが、これまで具体的な検

討を行っていないため、今

後の研究課題と思っている。

◆その他◆秀島市長3期目

の施政方針/地域コミュニ

ティ活性化/自治会運営に

対する支援



## 水田農業政策の見直しによる対応は



久米 勝博

TPPでは農産品の関税撤廃が議論されている中、農水省は米の減反を含む直接支払制度や、平成26年度以降の農業政策を決定した農家の皆様は米の生産調整での価格低下を防ごうと大豆転作などに積極的に取り組んできた。今後の対応は。

**答弁** 今後、国が提供す

る米の需給予測や在庫状況

などの情報を県、JA、生

産者と共有し、各地域の農

業再生協議会を中心に生産

者の支援に当たっていき

い。また、米の直接支払交

付金の廃止に対しては、平

たん地域では大豆などの継

続・拡大を推進し、また中

山間地域においては、今回

の見直しで拡充された飼料

用米や米粉用米などへの転

換を推進し、加えて、産地

資金により転作物物へのか

さ上げ支援も検討したい。

◆その他◆婚活支援につ

## 防災・災害対策のあり方を問う



山口 弘展

①避難時の誘導と情報の出し方について混乱が生じている。情報の周知・連絡体制を確立すべきでは②非常時の防災行政無線の運用は地元任せすることも考慮すべきでは③近年の雷被害に対する認識と今後の対応策は。

**答弁** ①昨年度の九州北

部豪雨を受け民生委員と自

治会長への連絡のルールを

改めて協議したが、今の時

点では校区の自治会長まで

しか市から直接連絡するこ

とができない。ただ、FM

ラジオや携帯電話などのシ

ステムを多重的に使った連

絡体制を今年度中に整備す

る予定である②可能であり、

そういったルールをつくら

っていく必要がある③市の建

物の過去3年の落雷被害は

毎年4件程度。どのような施設にどのような対策を講ずるかは当然検討していく必要がある。

◆その他◆民生委員のあり方について



転作物、大豆の収穫作業

※4 適応指導教室：何らかの理由により登校できない状態にある児童生徒を支援するための施設。佐賀市では、成章町の青少年センター内に設置している（名称「くすの実」）。

## 公共交通ネット ワークの充実を!!



山田誠一郎

①松梅デマンドタクシーの利用状況とコストは②順調である要因は③コスト面ではどのような工夫をしているか④国の補助金の限度額は⑤南部地域導入について、市の見解は⑥市民の足として愛されるための取り組みは。

**答弁** ①今年上半年期の利用率は、昨年比106%。昨年10月からの年間所要額は約550万円、市負担額は280万円②松梅地区公共交通活性化協議会を立ち上げ、地域の意見を反映、利用しやすい運行と料金を設定し、運行後も協議会で問題点を改善。また交通手段を守るという地域の意識が要因③運行の効率化と国の補助金を活用④国の補助約3300万円が佐賀市の

上限⑤モデル地区を定め試験運行をしたい⑥地域の公共交通を確立し、利用しやすい体系構築が必要。  
**◆その他**◆通学路の安全確保について



デマンドタクシー

## いじめ、不登校 対策を問う!

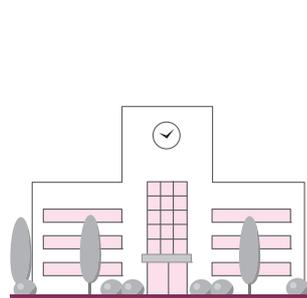


松永 憲明

①発生状況は②相談窓口への相談件数は③相談窓口の周知徹底が必要と思うが④居場所づくりの重要性の認識は⑤安心して相談でき、子どもの人権擁護及びいじめ救済のため、公的第三者機関を設置する考えは⑥子どもの人権条例の制定は。

**答弁** ①小中学校で本年度10月末現在、いじめ17件、不登校163人②同じく10月末現在、いじめ7件、不登校11件③新入生とその保護者へ配付する冊子の相談窓口案内を本年度中によりわかりやすいものに改定し周知する④学力もとより社会性を培う意味でも重要との認識から、いち早く適応指導教室を開設し対応している⑤今ある学校問題解決専門チームを第三者機関

と位置づけ、その機能強化を図る⑥まなざし条例に基づく子どもの人権を尊重した行動のさらなる推進が先決。  
**◆その他**◆中山間地域活性化について



## 12月12日(木)

## 消防行政の充実を



山下 伸二

市民の財産と生命を守るために消防団員の確保について、より一層の取り組みが求められているが①平成24年の消防団の活動実績は②団員の10名未満の部はいくつあるのか③そういった部に対する団員確保の取り組み

みを強化すべきではないか。

**答弁** ①消防の出動件数が59件、延べ2739人が出動、そのほかに火災以外の巡回や器具点検、訓練や演習などによる出動件数が948件、出動延べ人数は4万1937人となっている②20の部が10名を切っている③団員数が少ないところなどポイントを絞って団員の勧誘を行うとともに、県で発足された消防団員確

保対策検討委員会、若者が入団しやすい工夫や消防団活動の理解促進、更に自治会などとの連携した勧誘など協議を重ねながら積極的に取り組んでいきたい。  
**◆その他**◆中心市街地の活性化に向けて



## 子ども・子育ての 社会化の実現を!



江頭 弘美

高齢者の介護は介護保険制度で社会化を実現しており、子育ても「子ども・子育て支援新制度」で社会化しなければならない。社会化の実現に向けて「子ども・子育て支援事業計画」に子育てにかかわる全てのサービスを盛り込む考えは。

**答弁** 計画は、保育所、幼稚園、認定こども園や地域子ども・子育て支援事業である放課後児童クラブ、子育て支援事業などを中心とした子ども・子育て分野に関する幅広い支援の事業計画であり①幼稚園、保育所と地域子ども・子育て支援事業に係る需要の見込み②これらの提供体制の確保の内容とその実施時期③子ども・子育て支援の推進方策を定める必要がある。また、ニーズ調査の結果、現行サービスに不足があれば、

具体的にどう補うかなども盛り込むことになる。  
**◆その他**◆ネット依存について



※5 学校問題解決専門チーム：佐賀市教育委員会内にある3つの「学校問題解決サポートチーム」の1つで、精神科の医師・弁護士・警察官・特別支援教育関係の大学教授・臨床心理士の5名で構成される。  
※6 まなざし条例：「佐賀市未来を託す子どもを育むための大人の役割に関する条例」の通称。

## スポーツツーリズムの推進を



重田 音彦

市内に合併前からたくさん  
のスポーツ施設があり、  
これを活用したスポーツ合  
宿制度の制定を進言してき  
たがどうなっているのか。  
2020年に東京オリン  
ピックの開催を控えた今が  
一番のチャンスであり、い

つまでに制定するのか。

**答弁** スポーツツーリズムの一環としてのスポーツ合宿制度については、市民のスポーツ活動の振興、地域の活性化、経済効果等につながることから、スポーツ合宿の誘致を促進する制度創設を目指していたが、誘致には至らなかった。現在は、市内の各種競技団体等との調整を図るとともに、県や市の関係部署と情報共



有、協力しながら制度創設を進めているところである。この制度創設の時期については、来年度から取り入れたいと考えている。  
**◆その他**◆佐賀市の今後の森林整備／高校生の通学費補助／市道の管理について

## 12月13日(金)

## 佐賀市民芸術祭の今後を問う!



村岡 卓

第1回佐賀市民芸術祭が  
11月15日からの3日間で  
開催された。市民の皆様  
楽しんでいただけた反面、  
今後の開催に向けさまざま  
な反省点、課題も見えてき  
た。

幅広い世代への浸透を図  
るために方向性・計画を示

す必要があるのでは。

**答弁** 今年度同様、地元や佐賀ゆかりのアーティストによるレベルの高いパフォーマンスを広く紹介すること、また幅広い世代を対象とするとともに、芸術文化に親しむ機会が少ない皆さんにも気軽に芸術文化を楽しんでもらうというコンセプトで企画していきたい。

例えば、参加型のプログラムを充実させるなど、子



第1回佐賀市民芸術祭オープニングイベント

どもたちや保護者など若い方たちに興味を持ってもらえる企画を検討していくことも必要だと思っている。  
**◆その他**◆個人情報の取り扱いについて

## 本会議のテレビ放映・動画配信

本会議をぶんぶんテレビで生放送しています（開会中10時から最長17時まで）。また、本会議の動画配信や議事録検索、市議会議員名簿などを佐賀市ホームページに掲載しています。<http://www.city.saga.lg.jp/>の「市議会からのお知らせ」をご覧ください。

佐賀市 SAGA  
人と自然が織りなす「やさしさと活力にあふれるまち さが」

文字サイズ English | 中文 | 한국어

市民トップ | 暮らし・環境 | 健康・福祉 | 教育・文化 | 市政案内 | 様式・申請書 | リンク集

市民トップ > 市政案内:市議会

市議会 佐賀市議会に関する案内および情報です。

- 市議会からのお知らせ  
佐賀市議会の情報や、議会開催のお知らせなどを掲載しています。
- 議事録検索  
議会で行われた議事録を検索して見ることができます。

## 議会の傍聴

議場には一般傍聴席が65席あり、市内外のどなたでも傍聴することができます。車いすでの傍聴もできますので、ぜひおいでください。本会議のほか各委員会の傍聴もできます。



【12月定例会の傍聴者は58人でした】

## 佐賀市議会 2月定例会のお知らせ

2月27日(木) 午前10時開会(予定)

※日程等については、定例会開会前の議会運営委員会で協議され、定例会開会日に正式決定されます。決定次第、市のホームページでお知らせいたします。